

日本抗加齢協会第6回学術フォーラム

開催趣意書

会 期：2022年12月2日（金）・3日（土）

開催形式：現地及びZoomによるLive配信のハイブリッド開催

梅田スカイビル タワーウエスト 36F スペース 36

会 長：山田 秀和（近畿大学アンチエイジングセンター）

事務局：日本抗加齢協会 事務局

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町6-3 日本橋山大ビル4F

ご挨拶

この度、日本抗加齢協会第6回学術フォーラムを、脳心血管抗加齢研究会第18回学術集会との共催で、2022年12月2日（金）・3日（土）梅田スカイビル（大阪）にて現地及びZoomによるLive配信のハイブリッド開催をさせていただくことになりました。

我が国は世界を代表する長寿国であり、男性の平均寿命は80.8歳、女性の平均寿命は87.1歳とされ、女性に限ってみれば、まさに人生90歳時代を迎えた感すらあります。しかしながら、健康で若々しく、継続的な医療や介護に依存しないで自立して生活できる期間、いわゆる健康寿命は、男性で71.2歳、女性で74.2歳であり、平均寿命と健康寿命との間には、実に9～13年のギャップが存在しております。このような背景を受けて、健康寿命延伸に向けた様々な取り組みが国を挙げてなされております。

日本抗加齢協会では、学術フォーラムを5年前から開催しております。このフォーラムは、企業とアカデミアからの臨床家・研究者が一堂に会し、健康長寿社会の実現に向けて、新しいアイデアと研究成果を発表しあい、意見交換の場を設けることで、日本の高齢者の元気に少しでも貢献したいという思いから立ち上げられたものです。

そして、今年のフォーラムのテーマは、「次なる機能性表示へ」とさせていただきます。機能性表示食品制度の浸透とともに、手続きの充実など更なる深化が行われようとしております。当フォーラム参加者には、最新の状況をご理解できるようになると思います。また、機能性の有用性について栄養以外、運動・心・環境についても、会員企業からの最新の成果を発表いただけたらと思います。

演者・座長の皆様は、各分野を代表する研究者あるいは臨床家の方々に、本フォーラムを通して有意義な時間が共有されるものと信じております。本会の準備・運営は、コロナ禍での現状を踏まえ、できるだけ簡素・質素を旨とし、運営経費につきましては、参加者からの参加費でまかなうことを主としてしております。しかし、その参加費の徴収も慣例上、限度があり、本フォーラムの内容を充実させ、その成果をより大きなものとするためには、各方面からの浄財によるご支援を仰がざるを得ないのが実情でございます。つきましては、本フォーラムの趣旨にご賛同いただき、格別のご高配を賜わりたくお願い申しあげる次第です。

末筆ではございますが貴社の今後益々のご繁栄を心より祈念いたします。

2022年7月吉日
日本抗加齢協会第6回学術フォーラム
会長 山田 秀和

大会概要

1. 学会の名称

日本抗加齢協会第6回学術フォーラム

2. 主催・後援

(主催)

特定非営利活動法人 日本抗加齢協会

会 長：山田 秀和 (近畿大学アンチエイジングセンター)

3. 開催期間

2022年12月2日(金)・3日(土)

4. 開催形式

現地及びZoomによるLive配信のハイブリッド開催

梅田スカイビル タワーウエスト 36F スペース 36

〒531-6023 大阪市北区大淀中 1-1-88

TEL : 06-6440-3901

<http://www.skybldg.co.jp/convention/index.html>

5. 開催概要

1) テーマ 「次なる機能性表示へ」

2) 参加予定人数 定員 200名 (企業関係者、企業研究者、医師、医療従事者、研究者)

3) プログラム概要

【学術プログラム】

特別講演

シンポジウム

スペシャルゲスト

各種共催セミナー

他

4) 開催実績

回数	開催年	開催地	学会長
第1回	2016年	京都	吉川 敏一(財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター 理事長、京都府立医科大学学長)
第2回	2017年	大阪	森下 竜一(大阪大学大学院 教授)
第3回	2018年	大阪	市橋 正光(アーツ銀座クリニック 院長、神戸大学 名誉 教授)
第4回	2019年	東京	太田 博明(国際医療福祉大学 教授、山王メディカルセ ンター 女性センター長)
第5回	2022年	大阪	山岸 昌一(昭和大学医学部 教授)

6. 運営組織

会 長：山田 秀和(近畿大学アンチエイジングセンター)

プログラム委員：

尾池 雄一(熊本大学)

森下 竜一(大阪大学)

青山 恭明(株式会社サイエンス)

辻 智子(株式会社吉野家ホールディングス)

森下 雄司(森下仁丹株式会社)

7. 収支予算案

収入の部

項 目	数 量	単 価	消費税込 金額	備 考
1. 参加費				
1) 事前参加登録				200人想定
① 日本抗加齢協会賛助会員（現地）	90	0	0	1社3名まで招待
② 日本抗加齢協会賛助会員（WEB）	50	4,000	200,000	
③ 日本抗加齢医学会会員	40	8,000	320,000	アカデミア以外
④ 日本抗加齢医学会非会員・一般	20	10,000	200,000	
2) 現地参加登録				
① 日本抗加齢協会賛助会員（現地）	0	12,000	0	
② 日本抗加齢医学会会員	0	12,000	0	
③ 日本抗加齢医学会非会員・一般	0	15,000	0	
3) 招待者	20		0	
4) 懇親会				
① 事前参加登録	0	5,000	0	
② 当日参加登録	20	5,000	100,000	
小計			820,000	
2. 共催セミナー企画費				
1) ランチョンセミナー	1	1,320,000	1,320,000	
小計			1,320,000	
3. 企業展示費				
1) 基礎小間A	3	110,000	330,000	賛助会員のみ
2) 基礎小間B	2	330,000	660,000	賛助会員以外
3) 基礎小間C	2	55,000	110,000	会場内、賛助会員のみ
4) 基礎小間D	1	165,000	165,000	会場内、賛助会員以外
小計			1,265,000	
4. 広告費				
1) 企業プレゼンテーション	3	110,000	330,000	
2) PDF版抄録集中1ページ広告費	2	55,000	110,000	
3) 幕間広告費	2	33,000	66,000	
小計			506,000	
7. 寄付金	0	0	0	
小計			0	
8. 雑収入	0	0	0	利息等
小計			0	
9. 協会主催費	1	3,000,000	3,000,000	
小計			3,000,000	
合計			6,911,000	

支出の部

項 目	数 量	内税対象金額	外税対象金額	備考
<事前準備関係費>				
1. 事前準備人件費	1	800,000	0	
2. 庁費				
1) 各種製作物関係費	1	12,500	0	
2) フォラム・抄録集作成費	1	580,000	0	
3) 事前参加登録関係費	1	87,500	32,800	
4) 通信運搬関係費	1	56,600	18,652	
5) 雑費	1	20,000	0	
<当日運営関係費>				
1. 会場費	1	0	808,830	
2. 機材関係費	1	962,720	65,000	
3. 看板等設営関係費	1	348,750	0	
4. 招聘・謝金関係費	1	0	1,235,685	
5. 運営要員関係費	1	438,750	50,000	
6. 懇親会関係費	1	15,000	500,000	
7. 備品関係費	1	45,000	0	
<事後処理費>				
1. 挨拶状関係費	1	0	0	
2. 決算業務費	1	100,000	0	
<税務関係費（予備費）>				
	1	0	386,531	
計		¥3,466,820	¥3,097,498	
消費税額等		¥346,682	-	10%
小 計		¥3,813,502	¥3,097,498	
合 計			¥6,911,000	

8. 透明性ガイドラインについて

日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、下記を貴社のウェブサイト上に公開することに同意します。

- ・ 共催費に関する学会名、共催セミナー名とその金額
- ・ 寄付金に関する学会名とその金額

9. 銀行口座

振込先：三井住友銀行 赤坂支店

口座番号：普通 8627743

口座名：日本抗加齢協会

フリガナ：ニホンコウカイキョウカイ

10. 問い合わせ先

第6回学術フォーラム運営事務局

〒591-8025

大阪府堺市北区長曾根町3

シュライククリエイティブセンター201

株式会社プラスエス・アカデミー内 脳心血管抗加齢研究会事務局

Tel：072-275-5723 Fax：072-275-5724 (09：30～17：30、土日祝休業)

E-mail：ccvaa@plus-s-ac.com